

市川市芸術祭参加 市響60周年 1951-2011

第358回市響

合唱の集い



平成23年10月23日[日]14:00開演
市川市文化会館大ホール

主催 市川交響楽団協会
共催 市川市
協力 ヤマザキ製パン(株)・(株)全日警・(株)伊藤楽器

プログラム

第Ⅰ部

①市川混声合唱団

指揮：山崎 滋 ピアノ：鈴木 珠美

藪田 義雄作詩 小山 章三作曲

混声合唱組曲 ◇美しく過ぎゆくもの ◇千曲川の水上を戀ふる歌

②行徳混声合唱団

指揮：山崎 滋 ピアノ：乾 雅子

尾崎左永子作詩 佐藤 眞作曲

混声合唱のための組曲 ◇「海」

——— 休 憩 ———

第Ⅱ部 ピエトロ・マスカーニ『カヴァレリア・ルスティカーナ』 抜粋

指揮：山崎 滋

ソプラノ：桑田 葉子

合唱：市川混声合唱団 行徳混声合唱団

テノール：志田 雄啓

管弦楽：市川交響楽団

バリトン：小林 大祐

① 前奏曲 オーケストラ

② 「ああ 乳色のシュミーズを着たローラ」 テノール ソロ

③ 導入の合唱「緑に囲まれて」 合唱

④ 「馬は蹄の音をたて」 バリトン ソロ&合唱

⑤ 「天の女王様、お喜び下さい」 合唱

⑥ 「讃えて歌おう」 ソプラノ ソロ&合唱

⑦ 「お母さんもご存知のように」 ソプラノ ソロ

⑧ 「ああ、見たか」 テノール&ソプラノ 二重唱

⑨ 「ああ、アルフィオさん 主が貴方を寄越されたのですね」

「サンタさん、それなら感謝するよ」 ソプラノ&バリトン 二重唱

⑩ 交響的間奏曲 オーケストラ

⑪ 合唱と乾杯の歌 「友人たちよ」「輝くグラスの中の」 テノール ソロ&合唱

⑫ 「やあ、皆さん」「母さん、あの酒はいい酒だね」 テノール ソロ&バリトン ソロ&合唱

ご挨拶

皆様、本日は私共の“合唱の集い”にご来場いただき、誠に有難うございます。この催しは市川交響楽団協会所属の姉妹合唱団、市川混声合唱団と行徳混声合唱団による合同の定期演奏会でございます。人の声での音楽をお届けする機会を年に一回設けておりますが、楽器の演奏とは一味違う“声のハーモニー”をお楽しみください。

今年は、I部では両団の思い入れ深い混声合唱組曲の世界を、II部では合唱とオーケストラとソリストの奏でるオペラの世界をお届けします。

どうぞ最後までごゆっくりとご鑑賞ください。

まだまだ未熟な私達ですが、地域の文化振興に微力ながら役立ちたいと考えております。皆様のより一層のご支援をお願い申し上げます。

市川交響楽団協会理事長 時田 雄

プロフィール

指揮 やまざき しげる 山崎 滋



東京生まれ。東京芸術大学指揮科にて、指揮を金子登、佐藤功太郎両氏に師事、またピアノを村山信子、竹尾聡子、ヴァイオリンを山岡耕筈、スコアリーディングをH・ビュイグ・ロジェ、チェンバロをD.ヘルマン各氏に師事。在学中より二期会オペラの合唱・副指揮者として活動を始め、小澤征爾、若杉弘氏等のアシスタントを数多く務めるほか、オペラ研究生スタジオの講師として後進の指導にもあたる。日本合唱協会第104回定期演奏会「フランス音楽の夕べ」でデビュー。バロック音楽にも造詣が深く、マタイ研究会管弦楽団・同合唱団を指揮したバッハ「マタイ受難曲」全曲のCDが1992年に発売され好評を博した。新国立劇場（オペラハウス）の開場に伴いパイロイト音楽祭に派遣され、N.バラッチュ氏に師事。同劇場の開場記念講演「ローエングリン」では同氏のアシスタントを務める。2000年より新国立劇場の専属となり、オペラを中心に活動の幅を広げている。2009年日本合唱協会指揮者に就任。2011年より同常任指揮者に就任。日本指揮者協会会員。

ソプラノ くわだ ようこ 桑田 葉子



国立音楽大学声楽科卒業。二期会、横浜シティオペラ、(社)日本歌曲振興会各会員。第15回新・波の会日本歌曲コンクール1位、四谷文子賞受賞、第17回日本声楽コンクール入選。数多くのオペラ、オペレッタに主要な役で出演。特に2008年2月、二期会公演「ワルキューレ」ブリュンヒルデ役では確実な役作りとオペラティックな容姿、美声で公演の成功に大きく貢献した。近年では2010年9月、二期会公演「魔笛」の侍女I役を演じ、好評を博した。またコンサート出演も多く、特に日本歌曲の新作初演に意欲的に取り組んでいる。宗教曲、「第九」等のソリストとしても活躍中。CDは「ワーグナー四部作」(朝比奈隆指揮)、オペラ「金閣寺」(黛敏郎作曲、岩城宏之指揮、日本初演)、ソロアルバム「献呈」が発売され高く評価されている。

テノール しだ たけひろ 志田 雄啓



東京少年少女合唱隊卒業後、東京芸大卒。同大学院オペラ科修士課程修了。同大学院オペラ科博士課程を修了し、博士号(音楽)を取得。

第74回日本音楽コンクール声楽部門(オペラ)第1位。松下賞。このコンクールは、若手音楽家の登竜門として日本で最も古く権威のあるコンクールで、テノールの受賞は大変珍しく26年ぶりの快挙となった。平成20年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞、ニューヨークにて研鑽を積み、2010年6月に帰国。留学中、アッカディアオペラコンクールにて入選。カーネギーホールへのデビューを果たす。

今までにN響、東フィル、読響、名古屋フィル、アンサンブル金沢、小澤征爾音楽塾オーケストラなどと共演し、井上道義、大野和士、尾高忠明、小林研一郎を始めとする多くの指揮者と主要オーケストラで共演する。2008年2月には山田耕筈作曲オペラ「黒船」にて新国立劇場デビューを果たす。数多くのオペラ、コンサートにて活躍を続けている。

最近では、N響アワーや名曲リサイタルなど、テレビやラジオの出演もこなしている。

現在、東京芸術大学、聖徳大学にて講師を務める。二期会会員、日本声楽アカデミー会員。

http://music.geocities.jp/shidatake_tenor/テノール歌手志田雄啓のホームページ



こばやし だい すけ
バリトン 小林 大祐

東京芸術大学声楽科首席卒業。同大学院修士課程オペラ専攻終了。これまでに高橋大海、伊原直子、直野資の各氏に従事。オペラでは『シモン・ボッカネグラ』『ファルスタッフ』『ジャンニ・スキッキ』等のタイトルロールをはじめ、『コシ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、ドン・アルフォンソ、『フィガロの結婚』フィガロ、伯爵、『セビリアの理髪師』フィガロ、『椿姫』ジェルモン、『こうもり』アイゼンシュタイン、『カルメン』エスカミーリョ等を演ずるほか、ベートーベン『第九』等のソリストを務める。第14回コンセール・マロニエ声楽部門第1位。

すず き あけ み
ピアニスト 鈴木 珠美

国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業。ピアノをクロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に、指揮法を高階正光氏に師事。村上正治先生の指導の下、市川混声、行徳混声両団の伴奏を在学中から担当。

国立音楽大学ソロ・室内楽定期演奏会、千葉県同調会コンサート、市川市文化会館新人演奏会に出演。家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。同事務所主催ジョイントリサイタルではスクリャピン、ラフマニノフ、リストの諸作品で好評を得る。市川交響楽団とグリーグ「ピアノ協奏曲Ⅱ短調」、モーツァルト「ピアノ協奏曲第21番」を共演。ストラヴィンスキー「ペトルーシュカ」等、交響作品でのオーケストラ共演も多い。

室内楽の分野では、R.フリーダー氏（ウィーンフィル首席チェリスト）をはじめ多くのソリストと共演。真間史跡保存会制作のCD「手児奈の調べ」に木村珠美氏の伴奏を担当するなど、幅広く活躍している。

いぬい まさこ
ピアニスト 乾 雅子

国立音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。同大学同調会新人演奏会出演。学内選抜コンサート出演。第20、21回日本ピアノ教育連盟ピアノ・オーディション奨励賞受賞。在学中、タチャーナ・ゼリクマン、ジョルジュ・ナードル、ジャック・ルヴィエ各氏の公開レッスン等、また学内において練木繁夫氏の特別レッスンを受講。

2009年、ピレネー夏期国際音楽祭マスターコースに参加。ピエール・レアック氏に師事。選抜受講者コンサート出演。

これまでにピアノを多賀ひとみ、有賀恵、加藤一郎、北川正の各氏に師事。

現在、合唱団や声楽等の伴奏活動を行う他、後進の指導にもあたっている。プロ合唱団「日本合唱協会」ピアニスト。

まつ おか なお こ
練習ピアニスト 松岡 直子

国立音楽大学卒業および同大学院修了。在学中、岡田九郎賞、NTTドコモ賞、大学院研究奨学金を受賞。

卒業演奏会、大学院新人演奏会、宮内庁桃華楽堂における御前演奏会、第70回読売新人演奏会等に出演。

2003年、イタリアにて第30回フィナーレ・リグレ国際コンクール第3位（1位なし）。05年、第23回ソレイユ新人オーディション優秀賞。ウィーン国立音楽大学より奨学金を得て、ドナウレンダー国際夏期音楽アカデミーに参加。これまでにアドリアン・コックス氏と2台ピアノを、東京ベートーヴェンカルテット、プリマ・ヴィスタ（ポーランド）と室内楽を共演。06年より毎年ソロ・リサイタルを開催している。桐蔭学園講師を経て、現在ソロ、室内楽、伴奏ピアニストとして活動中。国立音楽大学大学院嘱託演奏員。ピアノを野坂厚美、網川恵、田辺緑、篠井寧子の各氏に、伴奏法を今井顕、徳永二男の各氏に師事。

ほり の なお み
ヴォイストレーナー 堀野 直美

国立音楽大学卒業。声楽を岩淵嘉瑩、嶺貞子、東敦子、錦織まりあの各氏に師事。国際芸術連盟主催第15回新人オーディション合格、同連盟主催新人推薦コンサートの他、サロンコンサート等多数出演。

また市川市文化会館主催「春のうたごえコンサート」ではブラームス「ドイツ・レクイエム」のソリストを務め好評を得る。

ヴォイストレーナーとしては市川混声合唱団を指導。国府台女子学院専任講師。国際芸術連盟会員。

混声合唱組曲

・・・・・・・・ 市川混声合唱団

◇美しく過ぎゆくもの

五つの連章で構成の組曲

老年になって娘を嫁がせた父親のなにか がっくりきたような心理の綾が主題になっています。父親の愛情・哀れを表現しました。

◇千曲川の水を戀ふる歌

千曲川は金峰山と甲武信ヶ岳と二つの山中にみなもとを発している。

二つの流れは信濃川上村でひとつになり、やがて越後の国にはいると信濃川と呼ばれるようになる。信濃の山中にみなもとを発した千曲川は、北佐久や南佐久のひろびろとした平原を流れくだって、やがて日本海に川口をひらく。

混声合唱のための組曲

・・・・・・・・ 行徳混声合唱団

◇海

静かに、だが無限の可能性を秘めた海の夜明け。母の思い出と重なり、戦争の記憶が浮かびます。さまざまな顔を持つ海。海は私たちの過去、現在、未来を示しています。そして今日もまた、海に夜がやってきます。

- 1 夜明け 夜が明ける。海がきらめき朝を歌う。明日へのあこがれを秘めて、波はおどる。
- 2 月光の海 月光の海にひたされ月をみている。海の向こうにはつぼみ色した明日がある。
- 3 ひまわりの母 母の思い出が蘇る。ながい戦争の間、苦しみを耐え忍び母は笑いを絶やすことはなかった。だが・・・
- 4 海のマーチ 遠い黒潮 青い海原 白い朝雲 若さを歌え。
- 5 うみのこもりうた 月の光がなめらかに渚の砂を濡らします。そして風のボートに乗ってきた、波の子どもを寝かせます。

ピエトロ・マスカーニ 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」抜粋

イタリア南部のシチリア島のある村で実際に起こった2組の男女の愛憎劇と、その結果起こった殺人事件を元に脚色・再構成された「ヴェリズモ・オペラ」(ヴェリズモ=真実主義、現実主義の意)というドキュメンタリー的な内容のオペラです。

逐次、字幕が出ますので、ここでは登場人物のみ紹介しておきます。

サントウツア	(ソプラノ)	村の娘、トゥリッドウの婚約者
トゥリッドウ	(テノール)	村の青年、サントウツアの婚約者でローラの元彼
アルフィオ	(バリトン)	馬車屋、ローラの夫
村人	(混声合唱)	

本日の出演者

市川混声合唱団

ソプラノ	阿部 紀子 小久保陽子 牧野真奈美	石井 安世 小暮 訓子 松本 芳枝	石川 襟子 庄司映路子 渡辺まほみ	石原 友子 武荒史都子	大坂 正美 中野 かよ	小田切幸子 並木美智子	金田美和子 西井 玲子
アルト	王 秀瑛 寺島安見子 渡辺 和子	大村麻奈未 内藤富士子	小野百登子 服部真知子	金子まち子 宮内 保子	桑村 和子 山本 桂子	小松崎幸子 横田 玲子	篠田 妙子 横塚 英子
テノール	内田 亘彦 星 乗昭	金田 輝夫 松丸 悟	久米 英廣	桑原 磐男	齋藤 和博	篠田 要衛	長谷川 隆
バス	阿部 晃	浮ヶ谷只仁	岡本 慎一	杉田 仁	長谷川康啓	樋口 進	水戸 健史

行徳混声合唱団

ソプラノ	東 孝子 中西 双葉	阿部都志子 橋本 晴美	安斉 悦子 古谷ヤス子	川又 京子 松本 孝子	長 信子 宮島麻木子	辻本 富子 山崎美和子	徳永 京子 横山 仁美
アルト	佐久間ゆみ子	佐藤 和子	土井 詢子	永野 幸子	野瀬富美子	横野セキヤ	
テノール	加藤 芳明	中川 保典	名倉 秀治	本田 康雄			
バス	伊澤 武 古畑 功	石井 省二	井原 安彦	加藤 正行	神田 春彦	佐々木龍也	塩谷 克己

市川交響楽団

コンサートマスター	立田 祥子						
第1ヴァイオリン	石崎 俊信	石本 恵理	上田佳津子	佐藤 薫	時田枝里子	秦 一宜	望月 聖仁
第2ヴァイオリン	鎌田 真貴 村上 葉子	佐分利幸江 吉岡 一郎	滝澤 葉子	富田八江子	仁井 理絵	林 美穂	武藤 敦子
ヴィオラ	内田 綾美	鈴木亜矢子	高野 重樹	谷口 善樹	奈良林弘子	舟本 典彦	若林 繁
チェロ	倉澤 倫子	野中 能久	林 恭代	日澤 優	福田 裕子	福原 耕二	
コントラバス	上村 啓介	菊池 克彦	小林 真弓	高柳 互宏			
フルート	池田 若菜	木村眞諭紀	佐藤 洋行	篠原 梨恵			
オーボエ	二村 直子	本間 広樹					
クラリネット	時田 雄	半藤 嗣人					
ファゴット	菅原 斉	山内 静					
ホルン	木下 泰斗	島村 恒夫	林田 朋子	山内 正晴			
トランペット	田崎 真二	柳澤 武志					
トロンボーン	齊藤 翼	坂田 圭	吉川 昌憲				
チューバ	渡邊 鉄雅						
打楽器	都筑 裕	時田 裕	春田美穂子	和田 英恵			
ハープ	大木 理恵						
オルガン	宇根美沙恵						

団員募集

来年10月21日(日)の「合唱の集い」ではベートーヴェン ミサ曲ハ長調を歌います。
 ご一緒に歌いませんか。お待ちしております。
 詳細はホームページまたは、下記にお問い合わせください。

※ホームページは合唱団名で検索できます。

- 市川混声合唱団 毎週木曜日 PM6:50~9:00 於:市川公民館ほか
 問い合わせ 047-339-3554 (篠田)
- 行徳混声合唱団 毎週火曜日 PM6:50~9:00 於:行徳公民館ほか
 問い合わせ 047-397-7279 (古畑)